

# 区民と区長のタウンミーティング（2022年10月24日開催）

## テーマ：子どもと親が利用する地域施設

### ●主な意見一覧

乳幼児親子や中高生の居場所、交流の場に関する意見
<b>○子どもの居場所、中高生の居場所</b>
子ども関係の施設は、年齢や学校によって利用施設が分けられていることが多い。中高生館など対象を明確にするのではなく、ゆるやかに、あらゆる世代の子どもが利用できる施設が良い。
子ども同士の新しい出会いや関係作りができる環境があると良い。
子ども関係の施設には、学校が苦手な子どもや、不登校の生徒たちの居場所になる機能が必要だと思う。
学童クラブ室がある児童館は、乳幼児と小中高生の利用が重なるため、乳幼児が利用できる時間に制限がある。乳幼児・小中高生のどちらも時間の制約を受けることなく、自由に利用できる環境を作ってほしい。
児童館に児童や生徒が勉強できるスペースがほしい。勉強のサポーターのような人を配置して、学習支援をしてほしい。
児童館で開催するイベントや企画を充実させてほしい（読書会、平和や中野の歴史を学ぶ場、中高生の利用を促すコンテンツなど）。
<b>○多様な交流の場</b>
親の孤立（孤育て）を防ぐために、児童館などが親同士のつながりが生まれる場所になると良い。
老若男女、障害の有無や国籍を問わず、様々な人が交流できる場があるといい。
市民団体が活躍しきれていないと感じる。子どもと親だけが子ども施設を利用するのではなく、子育て支援の活動をしている団体にも施設を活用してもらいたい。
<b>外遊び環境の充実に関する意見</b>
ボールや水遊び、自転車など、公園で禁止されていることが多く、遊びづらい。広い空間で、子どもたちが自由に外遊びができる場所が必要だと思う。
五感を使って自然に触れる体験は、子どもにとって大切なこと。しかし、木登りや泥遊びが制限されるなど、自然に触れることができる場所がないように感じる。
プレーパークも子どもの居場所の1つになっている。子育て家庭の徒歩圏内には常にプレーパークがあってほしい。
火起こしや木登り、大工など、子どもたちが日常では体験できないようなことも、プレーパークではできるようにしてほしい。
<b>乳幼児の預かりに関する意見</b>
乳幼児の一時預かりを拡充してほしい。どこでも必要とされている。
月に1度、何時間か預かりが使えるような制度があると、乳幼児がいる親のケアとして良いのではないか。
1歳児以降の子どもがいる家庭への支援を充実してほしい。
病児を預かってくれる施設・制度があると嬉しい。
<b>子ども施設全般に対する意見</b>
地域によっては子ども関係の施設までが遠い。施設の地域偏在を解消してほしい。
児童館などの職員配置が少ないと感じる。民営化せずに職員を増やしてほしい。
児童館や学童クラブは、地域の子育て支援の拠点となり、子ども同士の関係づくりや、地域との関係づくりをしてほしい。
学童や児童館で入退館の通知の導入や、防犯カメラを設置することで、親子が安心して利用できる環境が必要。